

データ利活用シンポジウム ～DX時代の統計～



データ駆動型社会の到来とICTの進展の中で企業のDXへの取組を通じ、今後の公的統計の将来を展望し、統計データ利活用センター及び和歌山県データ利活用推進センターの意義を広く発信するためのシンポジウムを開催します。皆様の御参加をお待ちしております。

開催日時 令和4年**6月19日(日)** 13:30～16:15 (開場12:30)

会場 ホテルグランヴィア和歌山 (6階 ル・グラン)
(和歌山市友田町5丁目18番地 TEL: 073-425-3333)

申込方法 裏面を御覧ください。

**参加費
無料**
定員 200名

和歌山大学における 取組 13:50～

『未来を拓く
社会インフォマティクス
の展開』



和歌山大学長
伊東 千尋 氏

基調講演 14:00～

『Software 2.0と
デジタルトランスフォーメーション』

花王株式会社 エグゼクティブフェロー
東京大学 人工物工学研究センター 特任教授
株式会社Preferred Networks PFNフェロー



丸山 宏 氏

パネルディスカッション 15:00～

『DX時代の統計』



情報・システム研究機構
統計数理研究所長

椿 広計 氏



花王株式会社 エグゼクティブフェロー
東京大学 人工物工学研究センター 特任教授
株式会社Preferred Networks PFNフェロー

丸山 宏 氏



滋賀大学長

竹村 彰通 氏



Zホールディングス株式会社
常務執行役員
グループチーフデータオフィサー (GCDO)

佐々木 潔 氏

※各プログラムの開始時刻は予定であり、変更になる場合があります

主催 総務省、独立行政法人統計センター、和歌山県

後援 デジタル庁、関西広域連合、(一社)日本統計学会、
(一財)日本統計協会、(公財)統計情報研究開発センター

問合せ先 和歌山県データ利活用推進センター
TEL: 073-488-2430

○シンポジウムの詳細は以下のホームページを御覧ください。
<https://data-utilizing-sympo.telewaka.tv/>

※参加時はマスクの着用をお願いします。

地球環境保護のために、再生紙と
ベジタブルインクを使用しています。



出演者プロフィール

丸山 宏氏 (基調講演 パネルディスカッション パネリスト)

1983年 東京工業大学修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム入社。人工知能、自然言語処理などの研究に従事。
1997-2000年 東京工業大学 情報理工学研究所 客員助教授 XML、Webサービス、及びセキュリティの研究・開発・標準化を行う。
2003-2004年 IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社へ出向。2006-2009年 東京基礎研究所所長、執行役員。
2009-2010年 キヤノン株式会社 デジタルプラットフォーム開発本部 副本部長。2011-2016年 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授。2016-2018年 株式会社Preferred Networks 最高戦略責任者を経て現職に就任。

椿 広計氏 (パネルディスカッション コーディネーター)

東京大学工学部計数工学科 (工学博士)、専門は応用統計学。東京大学工学部助手、慶應義塾大学理工学部講師、筑波大学大学院ビジネス科学研究科助教授・教授、統計数理研究所教授、(独)統計センター理事長を経て、現職に就任。応用統計学会会長、日本品質管理学会会長、統計関連学会連合理事長を歴任。現在は、応用統計学会理事、品質工学会会長、自殺総合対策学会理事長、横断型基幹科学技術研究団体連合副会長、総務省統計委員会委員長等。

佐々木 潔氏 (パネルディスカッション パネリスト)

2009年、ヤフー株式会社に入社。ヤフーが提供するマーケティング事業の研究開発を担当。
2015年、ヤフー全体のデータ利活用を統括する部門設立に伴い、データ基盤の開発責任者に就任。事業部のデータ活用を後押しするデータサービス部門の責任者を経て、2017年に執行役員CDO (チーフデータオフィサー) に就任。
2020年4月 Zホールディングス株式会社 グループチーフデータオフィサー (GCDO) 就任。2021年3月から現職。

竹村 彰通氏 (パネルディスカッション パネリスト)

ピアニストを目指し、東京芸術大学へ進学。その後、東京大学経済学部、同大学院経済学研究科修士課程を経て、米スタンフォード大学統計学大学院修了。東京大学院経済学研究科教授。東京大学大学院情報理工学系研究科教授を歴任。
2015年、滋賀大学データサイエンス教育研究推進室長に就任し、学部の創設に尽力。2017年4月から同大学データサイエンス学部長。2022年4月より現職に就任。

伊東 千尋氏 (和歌山大学における取組)

1962年静岡県生まれ。名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了 (工学修士 (結晶材料工学))、同理学研究科博士後期課程修了 (理学博士 (物理 I))。
日本学術振興会・特別研究員、旭化成工業 (株) 研究員を経て、名古屋大学理学部・助手に。1999年に和歌山大学着任、2007年にシステム工学部教授、その後、同学部長、副学長、工学自然科学系長、産学連携イノベーションセンター長等を歴任。2019年4月より現職。

データ利活用シンポジウム 申込方法

参加御希望の方は、会場又はオンライン参加のいずれかを選択のうえ、下記申込フォームにて、お申し込みください。

■申込フォームのURLは以下のとおりです

<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=njp-letgkg-dc5bbcbb3697cc18f085cb2b0abbbf02>

■申込メ切 令和4年6月6日(月)

■申込内容

団体名・氏名・電話番号・Eメールアドレス
参加方法 (会場又はオンライン参加の選択制)
意思疎通支援の有無 (手話通訳・要約筆記)



■申込についての問合せ先

株式会社テレビ和歌山
(本シンポジウム運営受託事業者)
TEL : 073-455-5721 (平日10:00~18:00のみ)

<アクセス>

ホテルグランヴィア和歌山 (6階 ル・グラン)
和歌山市友田町5丁目18番地
TEL : 073-425-3333
JR和歌山駅中央口出て右側へ徒歩2分



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止あるいは会場定員の変更やオンライン配信のみとなる場合があります。
※発熱や咳、咽頭痛などの症状のある方、体調のすぐれない方は参加をお控えください。